

埼玉県現職・退職校長北足立南部支部教育推進協議会

持続可能な社会を創造する力を育む 教育活動の推進



令和6年11月19日(火)
志木市小学校長会

1 志木市の取組

～全ての小学校・中学校で
小中一貫教育がスタート～



次代を担うたくましい 志木っ子を育てる

→令和7年度から市内全小(8校)・
中学校(4校)で小中一貫教育をスタート

小中一貫教育を推進する中学校区

小中一貫教育を推進する学校の設置形態は、これまでの取り組みや小学校・中学校の立地状況、地域の実情を踏まえ、志木第二中学校区は義務教育学校に、他の中学校区は義務教育学校または小中一貫型小学校・中学校を基本として検討を進めます。

中学校区	中学校	小学校
志木中学校区	志木中学校	志木小学校 志木第三小学校
志木第二中学校区	志木第二中学校	志木第二小学校 志木第四小学校
宗岡中学校区	宗岡中学校	宗岡第二小学校 宗岡第四小学校
宗岡第二中学校区	宗岡第二中学校	宗岡小学校 宗岡第三小学校

なぜ小中一貫教育が必要なのか

- ①学習のつまづき
- ②発達の早期化
- ③いわゆる「中1ギャップ」

小中一貫教育の推進

→課題に対応しうる教育の質の向上



「夢を持って活躍できる志木っ子」の育成

- 義務教育9年間のひとつながりとなった学習指導による学力の向上
- 「中1ギャップ」(学習のつまづき、不登校等)の予防・解消
- 学校・学年を超えた子供たちの交流活動、地域社会での体験活動を通じた豊かな人間性と社会性の育成

具体的な方向性

「たくましい志木っ子」育成に向けた取り組みは各中学校区で地域の特性を踏まえて具体化します

児童生徒の人間性・社会性の育成

相手や周りを思いやる心と、他人と協力しあって生活していける力の育成を目的とした、異学年や異年齢集団による活動や地域社会での体験活動を充実します



小学校同士の交流

小学校・中学校の児童生徒の交流はもちろん、同じ中学校区内の仲間であることを意識するよう児童同士の交流を促進します



特別支援教育の充実

9年間を通じた切れ目のない指導・支援とスムーズな小学校・中学校の接続など、精神的・身体的負担の軽減により特別支援教育を充実します



地域とのつながり

学校教育を通じて育心ことを目指す児童生徒の資質や能力などについて、地域と学校で認識を共有することにより、連携・協働をさらに充実します



2 各中学校区の実践

志木中学校区 (志木中・志木小・志木第三小)

学校の形態	小中一貫型小学校・中学校
通称名	いろはさくら学園
教育目標	文武両道
目指す学園像	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒・保護者・地域社会から信頼される学園 ・教職員同士が教育理念や実践を語り合うことのできる学園 ・地域と学校が一緒になって児童生徒を育てていく学園

志木第二中学校区 (志木第二中・志木第二小・志木第四小)

学校の形態	義務教育学校 (令和7・8年度は小中一貫型小学校・中学校)
通称名	志木の森学園
教育目標	共生・自主・自立
目指す学園像	子供の学びを地域と共に支える学校

宗岡中学校区 (宗岡中・宗岡第二小・宗岡第四小)

学校の形態	小中一貫型小学校・中学校
通称名	宗岡みらい学園
教育目標	笑顔あふれ、たくましく、粘り強い宗岡っ子
目指す学園像	笑顔あふれ、学び合い、高め合える学園

宗岡第二中学校区 (宗岡第二中・宗岡小・宗岡第三小)

学校の形態	小中一貫型小学校・中学校
通称名	宗岡せせらぎ学園
教育目標	ふるさと宗岡を愛し、誇りを持って、 地域に貢献する子供の育成
	～確かな学力を身に付け、夢に向かってチャレンジする15歳～
目指す学園像	<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人一人の良さを認めて、自信につなげる学園 ・児童生徒、保護者、地域社会、教職員が誇りに思える学園

3 志木二中学区の取組 ～義務教育学校の開校に向けて～

教育目標

「共生」 思いやりのある子	「自主」 進んで学ぶ子	「自律」 健やかな子
------------------	----------------	---------------

目指す児童生徒像

- 夢や希望をもち、粘り強く挑戦を続ける子
- 多様性を認め合い、共に高め合いながら成長する子
- 自信や誇りをもって社会に貢献し、未来を拓く子

※こちらの「教育目標」等は令和7年度から始まる小中一貫教育における3校合同でのものになります。

**社会で胸を張って自己実現
できる子を育てるために**
～志木第二中学校区が考える小中一貫教育～

教育課程

「教育課程」とは、児童生徒の発達に応じて編成する各校の教育計画のことです。

9年間を見通した教育だからできること ➡ 「6-3制」を超えてできることを

現在の「6-3」制における課題(1)【小学6年生の負担】

リーダー育成による「下級生のため」という時間が多く、自身の成長に向けた時間確保が困難。

< 具体的状況 > たてわり活動・委員会活動・クラブ活動・通学班・運動会係活動・修学旅行実行委員 etc
⇒ **休み時間や放課後の時間を駆使して取り組んでいる。**

< 改善策 > 小学4年生に「リーダー」を任せてみよう！
⇒ 4年生に「たてわり活動」や「通学班」など一部の活動を担ってもらおう。

6年生には、異学年交流によるリーダーは最低限に留め、自身と自身を取り巻く集団の生活を充実させる集団活動・自治的活動の充実を通して、よりよいチームづくりに取り組ませる。

現在の「6-3」制における課題(2)【中学1年生の負担】

生活が大きく変わる中で、来年度再来年度を見越した急激な変化を強いられる。

< 具体的状況 > 定期テストに向けた家庭学習・部活動による放課後の変化・多様な人間関係への適応
⇒ **大きな生活の変化を和らげる必要がある。**

< 改善策 > 中学校型の生活を少しだけ早く始めてみよう！
⇒ 小学校高学年のうちから段階的に慣らししていくことで納得感を伴いながら変化させる。

小学校高学年から、計画的な家庭学習や教科担任制による多様な人間関係への適応を段階的に進め、中学校1年生の後半では納得感を伴って変化した生活を送らせる。

<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="background-color: #e0ffe0;">中学3年生</td><td></td></tr> <tr><td style="background-color: #e0ffe0;">中学2年生</td><td></td></tr> <tr><td style="background-color: #e0ffe0;">中学1年生</td><td style="text-align: center;">負担</td></tr> <tr><td style="background-color: #ffffe0;">小学6年生</td><td style="text-align: center;">負担</td></tr> <tr><td style="background-color: #ffffe0;">小学5年生</td><td></td></tr> <tr><td style="background-color: #ffffe0;">小学4年生</td><td></td></tr> <tr><td style="background-color: #ffffe0;">小学3年生</td><td></td></tr> <tr><td style="background-color: #ffffe0;">小学2年生</td><td></td></tr> <tr><td style="background-color: #ffffe0;">小学1年生</td><td></td></tr> </table>	中学3年生		中学2年生		中学1年生	負担	小学6年生	負担	小学5年生		小学4年生		小学3年生		小学2年生		小学1年生		➡	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="background-color: #e0ffe0;">中学3年生</td><td>自身の力を活かして社会に貢献できる力を養う。</td><td style="text-align: center;">②</td></tr> <tr><td style="background-color: #e0ffe0;">中学2年生</td><td>自身の課題と向き合いながら、自己と自己を取り巻く集団を成長させる力を養う。</td><td style="text-align: center;">③</td></tr> <tr><td style="background-color: #e0ffe0;">小学4年生</td><td>4年生でリーダーとなることを念頭に置きながら、義務教育で必要な力を養う。</td><td style="text-align: center;">④</td></tr> </table>	中学3年生	自身の力を活かして社会に貢献できる力を養う。	②	中学2年生	自身の課題と向き合いながら、自己と自己を取り巻く集団を成長させる力を養う。	③	小学4年生	4年生でリーダーとなることを念頭に置きながら、義務教育で必要な力を養う。	④
中学3年生																													
中学2年生																													
中学1年生	負担																												
小学6年生	負担																												
小学5年生																													
小学4年生																													
小学3年生																													
小学2年生																													
小学1年生																													
中学3年生	自身の力を活かして社会に貢献できる力を養う。	②																											
中学2年生	自身の課題と向き合いながら、自己と自己を取り巻く集団を成長させる力を養う。	③																											
小学4年生	4年生でリーダーとなることを念頭に置きながら、義務教育で必要な力を養う。	④																											

子供の発達を捉えた「4-3-2」制

小学校5年生には中学校型の生活は負担になりませんか？	5年生にいきなり全てを求めると負担になります。そのため、段階的な導入を行います。また、小学校型の生活を指導してきた小学校の教員だからこそ、子供の負担を調整しながら変化させることができます。
小学校4年生にリーダーを任せて大丈夫ですか？	4年生のメリットは「委員会活動がなく、休み時間」を活用しやすいことです。デメリットは「6年生に比べた能力面の不安」です。全てを任せるのは難しいので、4年生に見合ったことを教師が補助しながら行います。

<p>【第1期】 小1～小4</p>	<p>【第2期】 小5～中1</p>	<p>【第3期】 中2～中3</p>
<p>＜学習指導＞</p>		
<p>基礎となる力の 確実な定着 ＜基礎となる力とは…＞ ○読む・書く・計算する ○伝える力 ○学習サイクル ○基本的な生活習慣</p>	<p>一人一人の学力を 伸ばす指導 ＜学力を伸ばすために…＞ ○専門性を活かした指導 ○個に応じた指導計画 ○計画・実践する家庭学習</p>	<p>社会につながる 学力の育成 ＜社会につなげるとは…＞ ○「活用」を重視した指導 ○社会課題とつなげた 学習意識の高揚 ○目標を意識した家庭学習</p>
<p>スマート教員など 複数教員による指導の充実</p>	<p>異学年にまたがった教科担任制 定期テストへの段階的移行</p>	<p>キャリア教育の充実 外部機関との連携</p>

➡ 「私は社会に貢献できる！」
自己効力感など非認知能力の向上へとつなげます

第3期での「外部機関」との連携とは具体的にどんなところと連携するのですか？

現在、志木第二中学校の「総合的な学習の時間」において試験的に始めているのは市役所など公共機関との連携です。生徒が自分で調べた情報を元に、実際に訪問して学習する等しています。今後、地元企業等との連携も検討していきます。

＜リーダー性の育成（特別活動の指導を通して）＞

<p>下級生に配慮できる リーダーになろう グループをまとめる経験を通して、下級生に配慮しながら活動する力を高めめます。</p>	<p>グループに貢献する 力を高めよう リーダーとフォロワー両面からの関わり方を通して、よりよい集団づくりを学びます。</p>	<p>下級生の 憧れになろう 自身の力を活かして下級生に関わることで、他者の憧れとなる経験をさせます。</p>
---	--	--

4年生にリーダーが移ること
で6年生の成長機会は失われませんか？

4年生では、6年生の成長機会に近いものを確保できるよう計画します。5、6年生はこれまであまり取り組んでこなかった「質の高い集団づくり」を学ぶ機会を重視し、リーダー、フォロワー両面への理解を大事にします。

自尊心の育成

今年度の具体的な取組

学校だよりから 〈志木二中学区で育てる力〉

中学校美術教諭による図工の授業

小一貫教育・義務教育学校の開校にむけて・・・

＜志木二中学区で育てる力～社会で胸を張って自己実現できる子を育てるために～＞

志木二中学区では、それぞれの学校の教員が他校の児童や生徒にも授業を行う取組を実践しています。先日は、来年度中学生になる6年生が二中へ行き、二中の美術室で中学校の美術の先生に「風景画」についての授業をしていただきました。たくさんの方の風景画を見せていただき、作品の解説をしていただいたり、技法について教えていただいたりしました。6年生の子供たちからは「説明が詳しくて分かりやすかった。」「心象風景画ということをはじめて知った。」等、中学校ならではの専門的な授業に興味を高めました。今後も、小学校のよさ・中学校のよさを生かし、子供たちのよさを伸ばしていきたいと思ひます。

中学校生徒会による「あいさつ運動」

＜志木二中学区で育てる力～社会で胸を張って自己実現できる子を育てるために～＞

志木二中の生徒会や委員会の生徒が、二小の校門であいさつ運動に取り組んでくれています。いつも、あいさつが素敵な二小っ子は、中学生のお兄さんやお姉さんがいるとさらに素敵なあいさつになります。また、二小の運営委員会も自主的にあいさつ運動をはじめてくれました。子供たちが自分たちの学校を、そして学区をより良くしていこうと活動している姿に頼もしさを感じます。また、近くにお手本となる中学生が、そして校舎にお手本となる高学年がいる環境こそが二小の良さだと感じます。



中学校科学技術部による「モデルロケット打ち上げ会」

＜志木二中学区で育てる力～社会で胸を張って自己実現できる子を育てるために～＞

8月7日（水）晴天の中、二中の科学技術部の生徒たちが、二小の校庭でモデルロケットの打ち上げ会を実施してくれました。当日は、午前10時からの打ち上げのために早くから、生徒たちが成功させようと準備にとりかかってくれました。そのおかげで6回の打ち上げは、全て成功し、打ち上げるたびに大きな歓声があがっていました。また、見学には100人を超える人たちが集まりました。身近に自分たちの将来のモデルとなる先輩がいるということは、二小っ子にとって、とてもありがたい環境です。



三校合同引き渡し訓練・ 志木二中学区合同研修会

＜志木二中学区で育てる力～社会で胸を張って自己実現できる子を育てるために～＞

8月29日（木）に「第二回志木二中学区合同研修会」を志木二中を会場として行いました。今回の研修会では、それぞれの学校の教職員が、授業・行事・生徒指導の3つのグループに分かれて話し合いました。3校で話し合うことで、それぞれの様子や新たな課題にも気が付くことができました。

また、三校合同引き渡し訓練では、保護者、地域の皆様にご協力いただき、ありがとうございました。



4 本校の取組 ～非認知能力を伸ばすための指導～

本校の課題(学校課題研究の取組 R4・5)

- ・望ましい人間関係の構築
- ・話し合いによって問題を解決する力

→研究主題

「心豊かに生きる

～より良い人間関係を築く力の育成～」

→学級活動(1)を中心とした研究

成果

- ・自分の考えを正確に伝えたり、自身の考えと違った考え方でも、相手を理解しようしたりする態度。
- ・話し合いによって問題を解決する力。

「議題の木」の作成

葉っぱに書く内容
→議題名、クラス、日付

貼る場所を1学期は下、
2学期は真ん中、
3学期は一番上
↓
各学級での学級会の議題
をシェア



課題

身に付けた力を生活にいかし、向上させていくこと。

令和6年度から3年間の挑戦！

《志木二中学区3校共通の研究主題》

社会で胸を張って自己実現
できる子を育てるために

～志木第二中学校区が考える小中一貫教育～

9年間で非認知能力の育成へ

ご清聴ありがとうございました。

